

## AIによる図書のセルフ貸出や仮想本棚のサービスを開始します

赤羽根図書館で、AIによる蔵書管理サポートサービスを開始します。本の背表紙画像をAIで解析する技術を用いて、セルフ貸出や仮想本棚への本の展示、蔵書点検の効率的な実施など図書館利用の利便性の向上が期待できます。

AIによる蔵書管理サポートサービス「SHELF EYE(シェルフ アイ)」の導入は、全国で4例目、愛知県内では初となります。

1 導入する図書館 田原市赤羽根図書館

2 サービス提供開始日 4月2日(水)

### 3 サービスの概要

#### ・セルフ貸出

利用者自らが簡単に貸出手続きを行うことができます。セルフ貸出機で蔵書の背表紙画像を読み取ると複数冊の本を一括で認識し、貸出処理を行います。

#### ・仮想本棚

インターネット上の仮想本棚に、背表紙や表紙の画像を用いて、おすすめ本を展示します。仮想本棚のサービス開始は5月予定。

### 4 期待できる効果

窓口混雑時や窓口休止時間中(12時～13時)でも、セルフ貸出機で利用者が自ら貸出手続きを行うことができます。

仮想本棚は、インターネット上で実際に本棚に本が並んでいるように表示されるので、図書館にいる気分で読みたい本を探すことができます。

また、年に1度実施する蔵書点検を従来よりも短時間で効率的に行うことができます。



セルフ貸出機

(担当) 中央図書館 是住 電話 (0531) 23-4946